

『老年期における精神疾患について』研修 アンケートまとめ

(有効アンケート数 73)

① どの事業所に属していますか。

老人福祉施設	15人	地域包括支援センター	2人
介護老人保健施設	9人	ショートステイ	1人
訪問介護事業所	4人	有料老人ホーム	2人
デイサービス	6人	サービス付き高齢者向け住宅	1人
グループホーム	9人	就労継続支援 B 型事業所	1人
介護療養型医療施設	7人	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1人
障害者支援施設	3人	居宅介護支援事業所	1人
病院	9人	救護施設	1人
小規模多機能型居宅介護	1人		

② 職種を教えてください。

介護職員	57人
介護支援専門員	6人
相談員	3人
ホームヘルパー	3人
看護師	2人
サービス提供責任者	1人
職業指導員	1人

③ 本日の研修はいかがでしたか

大変良かった	53人
良かった	17人
期待したほどではなかった	0人

【感想】

- ・病気のことを、ケアする立場から話してもらえてよかった。病気の説明は他にもあるから。
- ・事例もあり、とても分かりやすく、興味のある研修でした。参加させて頂き、感謝します。
- ・兄が現在うつ病の診断をうけて、会社を休んでいます。うつ病についてのポイントが知れてよかったです。ありがとうございます。体や見た目が普通なので、精神障害はみえにくい。自分の対応次第では、相手が死んでしまうこともあるため、専門職として対応が難しいと思った。自分が心の力も強くないといけないと思いました。
- ・「精神疾患」について、わかりやすく説明されて、とても良かったです。いろいろと事例があり、その時の対応ポイントもあって、勉強になりました。
- ・精神疾患について初めて学び、認知症との関連など知ることができた。
- ・認知症と精神疾患の違いを分かりやすく教えて頂き、ありがとうございました。本も読み、

理解を深めていきたいと思います。

- ・事例を盛り込んだ講義で、とても分かり易かった。
- ・最新の情報が聞けてよかった。対応は様々だったけど、本もしっかり読んで、きちんと対応できるようになりたいです。
- ・精神疾患のある方の関りは難しく苦手意識を持っていましたが、少し気持ちが変わりました。
- ・今の時代、精神疾患を抱えている人が多いため、興味ある内容で良かったです。今後も「根気よく関わる」ということで、日々頑張ろうと思います。
- ・精神障害を持つ利用者の対応に日々苦心しています。これからも増えていくと思います。今回の講義を受けて精進していきたい。
- ・精神障害と認知症の人の違いが理解できた。
- ・認知症と精神疾患の判別が難しく、グループホームのコンセプトに合っていないので、精神科の病院へ紹介と安易に考えてはいけないと考えさせられました。グループホームは「看護師は兼務で良い」程度の配置なので、カンファレンスもなかなかできず、苦慮しています。
- ・認知症と精神疾患の方の対応があまり変りない事、基本が大切だと思いました。その人の側に立って関わることの大切さを改めて思いました。
- ・精神疾患の理解において、ちょっと立ち止まって見ることの大切さを教えて頂きました。ありがとうございます。
- ・事例を多く取り入れてあり、とても良く分かり易かった。苦手意識があったが、これからの支援に役立つと思う。
- ・事例が多く、すごく分かり易かったです。当院にも精神疾患を持った患者さんがいますが、今以上に時間をかけた「対話」を大切にしていきたいと思いました。患者さんだけでなく、スタッフとも「対話」していきたいです。
- ・グループホームで勤務していますが、精神科から退院して入所される方が年々増えています。こちらも勉強していかないと対応しにくくなりつつあります。今日はわかりやすく、とても勉強になりました。ありがとうございました。奥が深くて難しいです。
- ・事例をまじえて精神疾患について学ぶことができました。対応の仕方や声掛け、相手を思いやる気持ちなど、良い講習を受けることができました。
- ・関わり方、理解する事の大切さが理解できました。
- ・具体的な内容があり、わかりやすかった。小さいころ近所にいた変わった人はこれだったのかな？と思うところがありました。
- ・現状の中で、私達が何をすべきか考えさせられる講義でした。何ができるのか考えると、理解するまで時間が要するようになりますが、今日習ったことを考えながら、現場に生かしていきたいと思います。
- ・統合失調症の利用者が増え、年齢も様々な中での対応について考えるケースが多く、大変勉強になった。事業所に持ち帰り、支援につなげたいと思います。
- ・「対話」ができるように、思いを受け止められる介護職になろうと思いました。
- ・精神疾患は多種多様な症状があり、対応の難しさを感じました。購入した「精神疾患ガイドライン」をしっかりと熟読し、今日の講義が生かせるようにしたいと思います。
- ・山根先生のお話に引き込まれてしまいました。難しい病気ですが、しっかり理解し、対応を

間違えないようにしないといけないと思いました。精神疾患を抱えた人への制度がもっと充実されるべきだと思います。まだまだ体制が不十分で、生きづらさがありそうだと思います。支援も、研修などが不足していると思います。

- 精神疾患の方への理解を精神科病院だけでなく施設や家族にも、もっと広げて頂きたいと思っています。
- ストレス現代の中で高齢化していく、精神疾患を含む利用者に対しての知識が学べて、参考となった。認知症との相関性も理解する事が出来た。今後、現場で活かしていきたい。
- 精神疾患の方との関わり方が大事なことが理解できました。日本もイタリアのように、精神病院ゼロになれば、変わればよいのと思いました。山根先生のお話、大変わかりやすかったです。
- 現在在宅サービス利用者に、この度の研修内容に置き換える利用者様がおられました。今後の関わり方にとっても良い勉強となりました。サービス事業所として今後どうしようかと思っていた利用者もおられるのでよかったです。
- どのように高齢者に関わったらいいか、参考になりました。
- 自分が明日より利用者に接していく方法を変えていこうと思います。まずは相手のことを理解した上で声を掛けて行けるように努力していきたい。
- 心の障害やひきこもり等の症状に対して、ベースに発達障害の方が多くことがわかった。15人に一人の割合で言えば、子供から高齢者までかなりの人数になると考える。そして職場の職員にも当てはまる人がいると考えると、コミュニケーションに関してのベースを勉強して対応する必要があると感じた。今後とも、職員に対しても対応できるコミュニケーションの講座をよろしくお願いします。
- 老年期の精神疾患の方の対応の仕方をもっとくわしく知りたいと思いました。
- とてもわかりやすい説明でしたが、精神の話を知ることができました。またの機会があれば受講したいと思います。
- 資料があったので良かったのですが、パワーポイントは色の関係か、とても見えずらかったです。精神疾患のことを詳しく教わったのですが、特に老年期におけることを詳しく教わりたかった。
- 一つひとつの内容が経験上のことで、わかりやすく聞くことができました。認知症についてもう少し詳しく勉強できるといいと個人的に思いました。
- 自分自身にも当てはまることはないか考える機会になり、自己覚知にも繋がったと思う。新たな知識を得たことで、入居者の思いを多方面から考えられるように感じた。
- 精神疾患についての知識が浅く、なおかつなかなか学ぶ機会がなかったので、今回の研修は本当にとってもいい学びの機会になったと思う。つい認知症だろうと思いがちで仕事をしているのではないかと思った。働くときに考えながら、意識しながら働こうと思う。
- この研修に参加できて良かった。
- 現在認知症疾患を患っていらっしゃる方のお世話をさせてもらっている仕事をしています。15年間見続けて来ましたが、様々な方がいらして、今日の講義は大変勉強になりました。色々な視点から考えることが大切なこともわかりました。
- 講習のペースも良く、いろいろな職種の方がいらっしゃったと思いますが、精神疾患は本人

だけでなく周囲（家族や私達職員）も理解し、支えていく必要が大切だと再認識しました。目に見えない障害だからこそ支える側がその人のその先を左右するという難しさを知りました。「どう頑張ればいいのか？」教えてあげたいと思います。

- ・こちらが当事者を理解しようとするところから始まる。関りで変わることが確信できたので、今後頑張っていきたい。不安が減りました。
- ・症状別での対応、コミュニケーションの取り方など、普段の自分の仕事と照らし合わせながら、見直し学びました。
- ・統合失調症独居の方と関わる上で学びました。介護側も、働く、学ぶ、遊ぶ。実地指導が終わったら遊ぶぞ。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・話されるトーンが聞き易く、集中して受講できました。レジュメに誤字が目立ちました。統合失調症や発達障害の方々の利用が多く、関わり方に悩みがありましたが、研修を受けて、本人の思いや病気を理解した上で、不安等が軽減できるような声掛けや支援ができればいいなあと思いました。
- ・精神疾患の方に対し、職員としていろいろと情報を共有し、共感する気持ちをもっていきたいです。
- ・精神障害のある利用者さんの対応はなかなか困難なので、とても勉強になりました。
- ・後半早口だったのが残念でした。
- ・精神疾患についての理解が少しは深くなったと思う。現場で活かされれば良いと思う。理解する事で自分自身の不安が軽減された。

④今後受けてみたい研修内容、研修講師などありましたら、ご記入ください。

- ・認知症についての研修（怒鳴るケース）
- ・看取り高齢者の家族の頃のケアについて
- ・三好春樹
- ・精神疾患についてもう一度聞きたいと思いました
- ・施設イベントやレクリエーションの進行・企画などの実践についての研修
- ・カルテ・サマリーの具体的な記載方法、ポイントについての研修
- ・「おとなの発達障害」の対応について 納富恵子（福岡教育大学）
- ・高齢者がかかりやすい病気、間違いやすい病気、症状から見えてくる病気など
- ・レクリエーション
- ・作業療法士の安藤裕介さんのセミナーを体験したいです
- ・感染症対策など
- ・施設の環境整備など
- ・もう一度、山根講師
- ・発達障害をもう少し学んでみたい